モリメイトの里山づくり

モリメイト通信

発行2026年　2月　28 日
通算 283 号
三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

2 月 7 日（土曜日）

土曜日参加のモリメイトとシイタケの菌打ち

【参加者；池本、越智宏、木谷、芝田、鈴木哲、鈴木明、中、風呂矢、岡田、土井、中島、森崎　　　　計12名】

モリメイト土曜日参加を申し込んでくれた岡田さん、土井さん、中島さん、森崎さんと一緒にシイタケの菌打ちを行った。

「モリメイトの活動には興味があったのでホームページなども見ながら参加してみたいなと思っていました。平日は参加できないので、土曜日の活動日ができたということをタウン誌「ＹＵＯ」の記事で知ったときは嬉しくて今だ！と参加を決心しました。」と参加者の一人が話してくれた。

菌打ちは初めてという人がほとんどでモリメイトの説明を聞きながら楽しく体験していた。その後、原木をシイタケランドに運んでいき、仮伏せをした。その場の様子を見ながら管理の仕方などを聞いてモリメイトの活動により興味をもってもらえたようだ。

2 月12（木曜日）ペンキ塗り、菌打ち、シイタケランドの整備など

【参加者：池本、越智宏、梶川、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、森浜牧　　　　計 9 名】

３月の土曜日の活動は、名札に木の名前を書き、散策しながら木に名札を付ける予定である。そこで、木の札に白ペンキを塗るところまで準備しておこうということになりペンキ塗りを行った。

朽ちたホダ木の処分を行い、笹を刈るなどの作業を行った。チラホラ出ていたシイタケを収穫し、雨が降らずあまり成長していないシイタケのホダ木をバケツの水に付けて様子を見ることにした。

シイタケランドに置く原木の菌打ちを行った。

2 月 19 日（木曜日）　四季咲きザクラの植樹、敢国神社へ

【参加者；　池本、越智、梶川、木谷、杉、鈴木哲、鈴木明、中　　　計8名】

敢国神社から依頼されて、神社の南側にある小高い丘に桜の木を植樹することになった。サクラの苗木と道具を持って急な坂道を登っていき、作業開始である。前もって代表の木谷さんとその仲間が草刈りをし、整地しておいてくれた日当たりと水はけの良い傾斜地である。

10 本と思っていたサクラの苗木はなんと 12 本。成長したときのことを考え 7m 位の間隔をとり、土を柔らかくし 40ｃｍほどの深さの穴を掘って培養土と腐葉土を入れ苗木を植えた。最後に水をたっぷりかけ、鹿よけのネットをかぶせて植樹は終了。

一方でチェーンソー係の二人が、日陰を作ってしまう南側の常緑樹を伐採していった。壊れた網囲いや残材を片付けて、1 時過ぎに作業が終了。

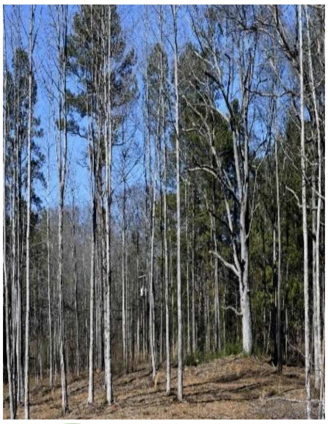
秋にも咲くサクラなので、モミジの紅葉と桜の花を同時に見られる秋が楽しみである。

2 月 26 日（木曜日）　名札を付ける木を選ぶ

【参加者:越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木明、森浜学、森浜牧、中　　　計 9 名】

事務所の職員の渡辺さんに教えてもらいながら　再度、名札を付ける木にテープで印をつけていった。

やはり、葉のないこの時期には見分けにくい木があるので 5 月にもう一度することになった。



モリメイト会議

- 「シイタケの菌打ち体験」を終えての感想や反省点について
- チッパー機を使用するにあたっての注意点について
- 三重テレビディレクターより取材の申し込みあり